

○協議会連絡会 平成28年7月27日(水) 第一ホテル両国

日本PTAを組織する全64協議会の代表ならびに事務局長が一堂に会し、教育に関する今日的な問題について講演をききました。

①講 演

◆地域と学校の連携・協働の推進について

文部科学省 生涯学習政策局
社会教育課 地域・学校支援推進室長
渡辺 栄二 様



◆児童生徒の自殺予防に係る取組について

文部科学省 初等中等教育局
児童生徒課 生徒指導室専門官
山本 悟 様

**②平成28年度事業運営について**

- (公1) 公益目的事業<全国研究大会徳島うずしお大会について>
- (公2) 調査研究事業
- (公3) 表彰事業
- (公4) 広報事業
- (公5) 国際交流・研修事業
- (公6) 教育支援助成事業

**③講 演**◆いのちと夢のコンサート
～つながるPTA特別編～
合唱作曲家 弓削田 健介 様**○各委員会** 平成28年7月28日(木) 第一ホテル両国

各委員会ともに副委員長を選出、昨年の活動内容を確認し28年度の活動について非常に活発な議論がなされた。

※活動内容については2~3面をご確認ください

○協議会代表者会 平成28年7月28日(木) 第一ホテル両国

1. 総務委員会より報告
2. 教育問題委員会より報告
3. 環境対策委員会より報告
4. 厚生委員会より報告
5. 活動事例報告【北海道PTA連合会】
6. その他

**○懇談会(研修会)** 平成28年7月28日(木) 第一ホテル両国

(1)「少年の非行・犯罪被害の防止」

前警察庁生活安全局少年課 少年保護対策室長
現在 文化庁 政策課文化プログラム推進企画官
(兼) 宗教課宗教法人 室長
村瀬 剛太 様

(2)「子どもの人権と法務省の
人権擁護機関の取組について」

法務省 人権擁護局総務課 人権擁護調査官
大手 昭宏 様



(3)「教育改革を踏まえた教育の情報化」

文部科学省生涯学習政策局
情報教育課 情報教育振興室長
新津 勝二 様



として、2チームに分かれ、今後の委員会で議論を行つ。今後も取り組むべき課題を実施する。日々変化する子どもを取り巻くメディア環境に対し、より設問の精査を実施。より今日的なアンケート結果が得られるよう変更しました。

また、今後のWebでの実施に向け、小学校4~5校、中学校8~9校でテスト調査を実施。実施に際しては意見書を同封し、協力頂いた方々の率直な意見を受け、本格実施に向け検討を重ねます。

また、今年度は食育について深く検討を進める予定である。各協議会で実施している食育に関する活動について、日本PTAのホームページ上でリンクを貼り、単位PTAでも取り入れやすいよう、より活用しやすいように誘導に掲載されている「食育」に

ついて取り扱っている事例を抽出し、今後の全国大会で掲示・閲覧ブースが設置できなければ検討を重ねる。また、「朝ごはんポスター」を作成し、日本PTAのホームページ上で公開し、広く活用して頂けるようにする。次回委員会までに、全国各地の朝ごはんの写真を集約し、発表していきたい。



厚生委員会

28年度「教育に関する保護者の意識調査」の実施について

又、今年度は「家庭教育の役割」を重要な協議事項として、一年間を通して、調査、研究して委員会として問題提議が出来る活動を推進して参ります。

皆様のご理解とご協力ををお願い致します。

「教育に関する保護者の意識調査」につきましては、全国の保護者の皆様のご理解とご協力を頂き、平成14年度より毎年調査を実施させて頂き、25年度には、過去10年間の総括を行つことを受けて、次の10年間を見据えて「PTAの役員として自分たちが聞きたい質問に厳選する」、「少なくとも今後5年間の継続調査に耐えうる質問に精選する」ことにし、28年度は5年間の継続調査の4年目になります。経年変化やクロス集計などにより項目に対して細分化した分析を皆様に情報提供して参ります。

Webアンケートについて、新たな取り組みすべての体制が整つていいな

い現状が有り、今年度は教育問題委員会の委員の皆様にご協力を頂き、先行

して体験調査をいたします。

又、今年度は「家庭教育の役割」

を通じて、調査、研究して委員会として問題提議が出来る活動を推進して参ります。

皆様のご理解とご協力ををお願い致

平成28年度子どもとメディアに関する意識調査

今年度も1.「子どもとメディアに関する意識調査」のアンケート実施します。また、環境対策委員の推薦校へWebアンケートの試験実施。2.「アンケート結果に基づく、課題の把握と提起」となります。例年継続している調査についてですが、現状は用紙に記入いただき方式で実施しておりますが、合わせて委員より推薦された指定校へWebアンケートを試験的に実施させていただきます。この試みは、多くの会員の皆様の声を集約する方法のひとつに繋がると考えておりますが、初めてとなるため、今年度は限定的に試験を実施する事になりました。ご協力いただき会員の皆様にはご迷惑をお掛けしてしまいますことかと思いますが、今年度の結果が将来に繋がる事を理解いただき、ご支援の程宜しくお願い申しあげます。

平成28年7月22日 第4回
広報に関する研究会が開催されました。

本会は教育関係団体・教育団体・有識者がその垣根を越え、幼児から高校生までの全国の子どもたちの健全育成と成人教育にどのように寄与できるのかを議論し、新たな方策を導く研究会であります。

第4回目は、文部科学省生涯学習政策局から出席頂き、各団体の出席者から近況報告が行われました。今回は各団体の組織運営上の課題や全国大会の開催状況などが報告されました。組織運営上の各団体における共通の課題として

第4回広報に関する研究会

「ポケモンGO」対応協議

各団体の広報誌などに「広報に関する研究会」を紹介したり、相互に団体の紹介を掲載するなど活動が活発化しております。それぞれが紹介し合う事で団体の存在意義を知る事となりその効果は目に見えてきています。公益社団法人日本教育会の滝澤雅彦専務理事・事務局長は「この研究会は様々な教育関係団体の橋渡として重要な意味を持っている」と必要性を強調されております。

文教大学の松田素行先生は、本会の意見交換のまとめとして、「学校経営はもはや学校だけでは難しくなっている。PTAをはじめとする教育関係団体は支援という関わりだけではなくなってきた。今後は更なる連携が必要になり、主体的に意思を持つた活動が求められる」と提言されました。

たゞ、本会を通じての意見交換や情報の共有は主体性に大きく寄与すると考えますが、その声を届けるにはやはり「広報に関する研究」を継続する信力を必要であり改めて「広報に関する研究」を継続する必要性を認識致しました。

更に議題の一つとして、「ポケモンGO」が取り上げられました。日本に先立つて欧米で配信されておりますが、本会が開催された日が日本でも配信になったこともあり活発な議論がなされました。ながらスマホや、危険個所への立ち入り制限など、法的な整備もこれからではありますがない。スマホなどの情報通信端末機の不適切利用からの様々な影響に対し本会でも動向を注視し、早急に何らかの発信をするべきであると多数の参加者からのお意見があり次回への課題としました。

保護者の
みなさまへ

スマートフォンを安心・安全に使うために
～「ペケモンGO」で遊ぶときの「5つのおわが心」～

スマートフォンやゲームなどは、正しく使え ばとても便利で楽しいものです。しかしながら、正しく使わないと子どもがトラブルに巻き込まれるケースが増加していることも事実です。
子どもがトラブルに巻き込まれないために、家族でよく話し合って、以下の内容を参考に家庭でのルールを決めておくことが大切です。

保護者の皆さまも、ご自身が利用の際は、子と

- 画面だけに夢中になっていると思わぬ事故が起こります。周囲にもきちんと注意しましょう。
○モンスターが現れるるとスマホが震える機能があるので、震えたら立ち止まって周りを確認してから画

面をみるようになります。

- 画面だけに夢中になっていると思わぬ事故が起こります。周囲にもきちんと注意しましょう。
○モニターステータが現れるとき甘肃る機能があるので、體をなに立たせなくて済むを確認してから画面を見る。

○モノスターが現れるとスマホが震える機能がある
面をみるようしましょう。

- 情報交換サイト、他の交流場所で、ゲームにかこつけて「会おう」と誘われても、安易についていってはいけません。トラブルに巻き込まれる可能性があります。

○どうしても会わないといけない場合は、必ず保護者が一緒にいきましょう。

その4：個人情報に注意しましょう

- トレーナー登録する時は、どのような名前にするか保護者と話し合いましょう。
○写真にはその場所が特定されないようにGPS情報が付かないように設定しましょう。

その5：公共の場ではマナーを守りましょう

- 公共の場所では利用のルールを守りましょう。
 - 入場が禁止されている区域には絶対に入らないようにしましょう。

“企画戦略会議”

持続可能な組織作りへ

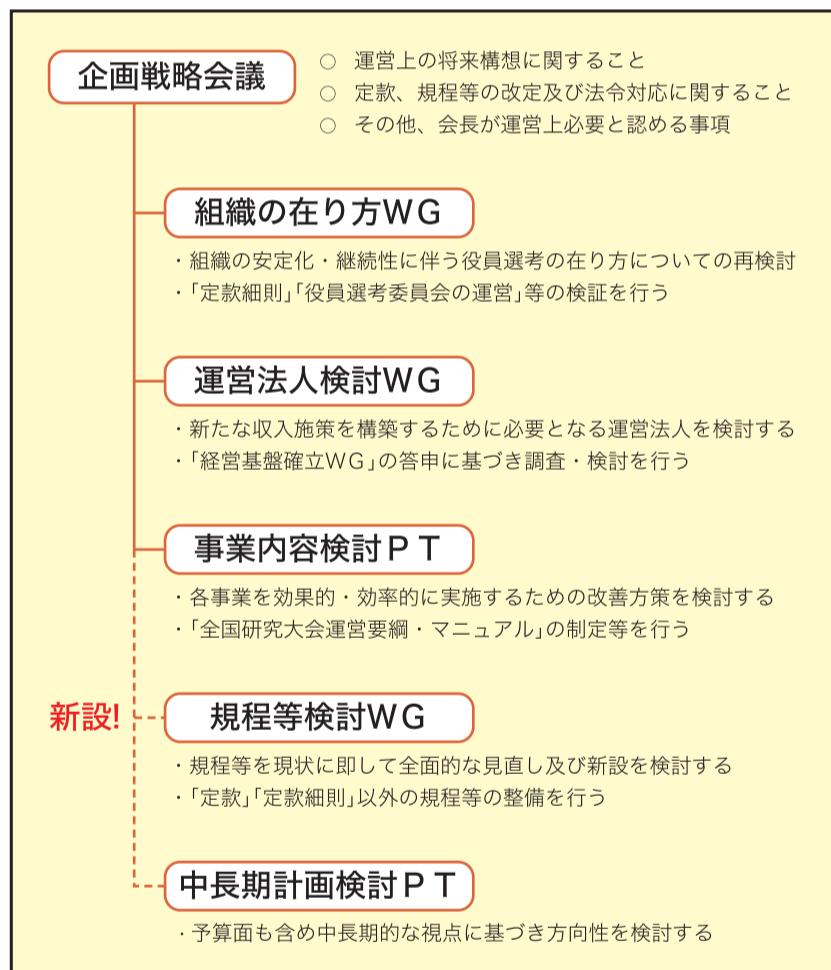
企画戦略会議 議長 尾上浩一



企画戦略会議「事業内容検討P・T」

企画戦略会議は、日本PTAの運営上 の改善点や重要事項に関する企画・戦略 等の検討を行うことを目的として、平成 27年7月21日に設置され、日本PTA組織 の必然性や社会的責任を果たすことを 念頭に、安定した組織体制及び継続性・ 連続性のある組織運営を目指して議論し 答申してまいりました。その結果、理事会 において更に審議され、定款及び定款 細則の変更等に反映され、内部統制の強 化等を実現しています。

今後においても、より具体的な内容を 検討するにあたって、持続可能性に関する 組織の在り方及びそれに則した規程等 の見直し、整備や、公益事業、収益事業 及び法人運営に関する事業内容等の再検討、 健全な財務体質と安定的な収益構造を 実現するための中長期展望の構築等々 を下図の体系で議論を継続し、日本PTA Aの在り方に関わる具体的な方向性を示唆し、情報発信することができる会議体 を目指して鋭意検討してまいります。



～自然災害からの学びと教訓～

「PTA防災事例集」(仮)が発売されます

毎年大きな災害が発生している日本において、防災の重要性は日々増しています。過去に起きた自然災害からの学びを今後に役立てるため、またPTAを主体として、地域・関係団体と連携した「自然災害から子どもの命を守る」取組みを一冊の本にまとめました。

本書の目的はPTAが主体となり、地域・学校・消防署・警察署・行政・企業等と連携した取組や、地域社会の防災ネットワークづくりの方法を提示するほか、子どもを守る安心・安全の取組の「様々なアイデア」を収集、発信し、家庭教育としての「防災会議（安心・安全会議）」の一助になることを目指しております。

また、実際の被災体験から学んだ日頃の備えに必要な事と物、災害に遭ったときの対応等とその後の行動等の教訓について、今後防災活動に生かせるよう全国の様々な事例を掲載する予定です。

子どもたちの命を守るため、地域防災の核となり活動をするPTAのマニュアルとしてぜひお役立てください。 【平成29年 冬発行予定】



日本PTAでは、今年度も「社会福祉法人全国社会保障協議会」「全国児童養護施設協議会」を通じて、全国5か所の児童養護施設へ図書と文房具の寄贈を行いました。この活動は昨年度より行われており、27年度は224冊の図書と文房具85点の合計309点、今年度は176冊の図書と316点の文房具、合計492点をお贈りしました。これらの寄贈品は、日本PTAが行っている協賛事業の審査過程において企業から提出された商品で、主にPTAが行っている協賛事業の審査過程において企業から提出された商品で、主に



PTA研修テキスト本が発行されます

この冊子は日本PTAの根拠（趣旨）・目的等を再認識するとともに、PTA活動をしていくために必要な基本的な知識を知っていただくために、作成されました。

社会教育関係団体であるPTAは、保護者と教師である大人が学習し、活動することにより、次世代を担う子どもの教育環境・生活環境を向上させ、社会の発展に寄与することを目的とした団体です。つまり社会の基盤形成の一翼を担っています。

そのためにはすべてのPTA関係者が「PTAの設立の目的」「PTAとはどのような団体か」「PTAが社会から何を期待されているのか」などを知っておくことが大事かと考え、PTA活動をしていくために必要最小限の基礎的な知識を一冊にまとめました。

ぜひ単位PTAで活動されている皆さま、ならびにこれからPTAに関わる方、PTAとともに活動されている地域の方々にも読んでいただければ幸いです。

内容については、研修のテキストとして使用して頂くことを目的として作成しました。

【第1章】日本PTA全国協議会は「公益社団法人」であるため、「公益法人」とは何かということを簡潔にまとめています。

【第2章】日本PTAの綱領と基本的な視点について掲載しています。綱領は団体の基本的な立場、目的などを示した、団体にとって最も大事な指針です。

【第3章】PTAに関する法規が掲載されています。PTAは教育基本法（第12条）、社会教育法（第10条）における社会教育関係団体です。PTA発足から現在に至るまで、PTAの基本理念については、保護者と教師がともに学び（成人教育）、活動することにより、子どもの教育・生活環境の向上を図ってきました。具体的な活動目的・内容は法人の総会で決議された綱領、定款（第3条）に明記されています。

【第4章】国（文部省・文部科学省）の審議会等の答申（報告）がPTAについてどのように考えられ、期待されているかを年代順に関係する文を抜粋しています。

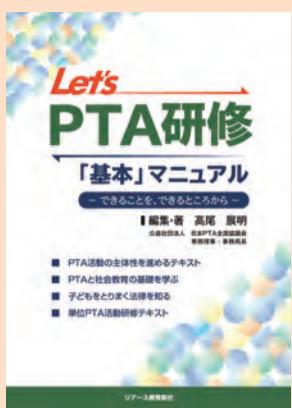
【第5章】子どもに關係する法律が掲載されています。いじめ、児童買春・児童ポルノ、児童虐待とは何かについての法律上の定義、またその他子どもに關係する法律が掲載されています。

【平成28年 秋発行予定】

ご購入を希望される場合は、下記までご注文ください

〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-38 日本PTA全国協議会「Let's PTA研修」申し込み係

①お名前 ②送り先 ③ご連絡先電話番号 ④希望冊数 を必ずご記入ください



※表紙はイメージです

児童養護施設に寄贈しました

日本PTAのパンフレットが新しくなりました

全国64協議会からなる公益社団法人日本PTA全国協議会のパンフレットが新しくなりました！今回青沼貴子先生の素敵なイラストが表紙となっています。「日本PTAってなんだろう？」という疑問にお答えするパンフレットとなります。ご希望の方は、下記までFAXでお申込みください。送料のみご負担くださいようお願い申し上げます。

◆記載事項◆

①お名前・学校（PTA）名②お届け先住所③連絡先④希望冊数
※パンフレット希望とご記載ください

◆申し込み先◆

(公社)日本PTA全国協議会 FAX 03-5545-7152



第38回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール入賞校一覧

賞	小学校PTAの部	中学校PTAの部
文部科学大臣賞	<清流> 山形県最上町立大堀小学校PTA	<すみよし> 宮崎県宮崎市立住吉中学校PTA
日本PTA全国協議会 会長賞	<つなぐーなかじまPTA> さいたま市立中島小学校PTA	<メビウスの輪> 愛知県みよし市立三好丘中学校PTA
	<なかはら> 千葉県柏市立中原小学校PTA	<西都> 長崎県諫早市立西諫早中学校育友会
	<やまびこ> 兵庫県三田市立つづじが丘小学校PTA	<朝日> 鹿児島県奄美市立朝日中学校PTA
	<こだま> 北海道函館市立中央小学校PTA	<あさなぎ> 鳥取県大山町立名和中学校PTA
日本教育新聞社 社長賞	<やまた> 横浜市立山田小学校PTA	<ふれあい> 山口県周南市立周陽中学校PTA
	<カラス天狗> 鳥取県大山町立大山小学校PTA	<ハピネス> 宮崎県えびの市立真幸中学校PTA
	<ふじさき> 川崎市立藤崎小学校保護者と教職員の会	<Plain> 北海道帯広市立帯広第一中学校PTA
教育家庭新聞社 社長賞	<えんざん> 福井県福井市円山小学校PTA	<夢つるや> 大分県佐伯市立鶴谷中学校育友会
	<くまんしょ> 熊本市立隈庄小学校PTA	<MIHARA> 北海道釧路市立美原中学校PTA
企画賞	<ようなん> 栃木県宇都宮市立陽南小学校PTA	<エガオノチカラ> 福井県坂井市立丸岡中学校PTA
写真賞	<なかだ> 横浜市立中田小学校PTA	<かじか> 鳥取県三朝町立三朝中学校PTA
佳作	<帶校だより> 北海道帯広市立帯広小学校PTA	<東中の風> 岩手県遠野市立遠野東中学校PTA
	<こんにちは。> 北海道帯広市立啓北小学校PTA	<たかやぐら> 岩手県盛岡市立見前中学校PTA
	<まつばら> 山形県酒田市立松原小学校PTA	<豊郷> 栃木県宇都宮市立豊郷中学校PTA
	<さんのまる> 茨城県水戸市立三の丸小学校PTA	<五中PTA新聞> 群馬県前橋市立第五中学校PTA
	<おおさと> さいたま市立浦和大里小学校PTA	<葦芽> 千葉県松戸市立小金南中学校PTA
	<KIDASHO NEWS> 福井県福井市木田小学校PTA	<れんげ> 長野県長野市立三陽中学校PTA
	<PTAだより たいま> 奈良県葛城市立當麻小学校PTA	<塩田中PTA新聞> 長野県上田市立塩田中学校PTA
	<広報つるおか> 大分県佐伯市立鶴岡小学校PTA	<桜ヶ丘> 鳥取県鳥取市立桜ヶ丘中学校PTA
	<すぎな> 鹿児島県鹿児島市立紫原小学校PTA	<華陽> 山口県防府市立華陽中学校PTA
	<ひろき> 鹿児島県鹿児島市立広木小学校PTA	<かがやけ> 福岡県飯塚市立飯塚第二中学校PTA

8月4日、日本PTA会議において、第38回全国小・中学校PTA広報紙コンクールの最終審査が行われ、入賞作品が決定した。

第38回全国小・中学校PTA広報紙コンクール

文科大臣賞に
宮崎県
山形県
宮崎市立住吉中学校PTA
小・中各22校が入賞 11月に表彰式

審査対象は、平成27年度中に発行された広報紙のうち年に2回以上発行されたもので、今年度の応募総数は5232校(小学校3546校、中学校362校)の中から、日本PTA全国協議会による第2次、第3次審査を通過した600校(小学校238校)が選出された。各地協議会での第1次審査、そして最終審査を経てPTA広報紙の持つ目的・使命・記事・編集・レイアウト・見出しなどの評価が総合的に

議会における第2次、第3次審査が行われた。表彰式は、11月18日の日本PTA全国協議会年次表彰式にて行われる。表彰式は、11月18日の日本PTA全国協議会年次表彰式にて行われる。



2016優秀広報紙集

第38回全国小・中学校PTA広報紙コンクール作品集が発売されます

昨年度より本文にカラーページが入り、また価格を下げることでより多くの学校の広報委員さんの手に届きやすくなりました。第38回の今回も、紙面をカラーで掲載することで、「なぜこの広報紙が優秀賞を受賞できたのか」がよりわかりやすく、また参考にしやすくなっています。

紙面づくりで非常に重要な色の使い方、レイアウトの仕方、写真のアングルや掲載の仕方など、全国の優秀な広報紙をそのままカラーで掲載しています。ぜひ、より良い広報紙作成にお役立てください。

お申込みは日本PTA全国協議会ホームページ(www.nippon-pta.or.jp)をご覧ください。



※写真は昨年度のものです

第38回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール審査委員

第三次審査		
団体名	役職	氏名
全国連合小学校長会	広報部長	今城 徹
全日本中学校長会	会計部長	富士道正尋
全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会	副会長	中川 博喜
全国国立大学附属学校PTA連合会	事務局長	田中 一晃
(一社)全国高等学校PTA連合会	副会長	木村 豊行
公益社団法人日本教育会	理事長	池田 信明
日本教育新聞社	取締役・編集局長	矢吹 正徳
教育家庭新聞社	代表取締役	菊池 清広
(公社)日本PTA全国協議会	常務理事	齋藤 芳尚
(公社)日本PTA全国協議会	理事	佐藤 秀行
最終審査		
文部科学省 生涯学習政策局 社会教育課 地域・学校支援推進室 PTA等共済室 放課後子ども総合プラン推進室 (公社)日本PTA全国協議会	室長補佐 会長 取締役・編集局長 代表取締役	下田 力 寺本 充 矢吹 正徳 菊池 清広

(敬称略)



実行委員長 永濱浩幸



寺本会長



大会旗が徳島県から仙台市へ受け継がれました

第64回日本PTA全国研究大会 平成28年8月20日(土)~21日(日) 徳島うずしお大会



全体会場

阿波踊りの熱気冷めやらぬ中、第64回日本PTA全国研究大会徳島うずしお大会、第45回日本PTA四国ブロック研究大会が平成28年8月20日21日に盛大に開催され、盛会の中無事に閉幕されました。本大会には文部科学省の権限官も大臣政務官をはじめ多くの来賓の皆様にご参集頂き、また全国より約4800名の会員の皆様にご参加頂いたことに心より御礼申し上げます。